

国語 現代の国語

科目	現代の国語	(必修)	授業時数	2	単位
			履修学年	1・2	学年

目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
-----	--

●学習内容

1 学期	1 0 時間	2 学期	1 5 時間	3 学期	1 0 時間
理解編	5	理解編	5	理解編	5
・水の東西(山崎正和)		・言葉遣いとアイデンティティ		・「弱いロボット」の誕生(岡田美智男)	
表現編	5	(中村桃子)		表現編	5
・話し方の工夫		表現編	5	・スピーチで自分を伝える	
・待遇表現		・情報の探索と選択		・相手に伝わる案内をする	
・論理的な表現		・情報源の明示			
		理解編	5		
		・イースター島になぜ森がないのか			
		(鷲谷いづみ)			

教材
教科書:「標準 現代の国語」 第一学習社 漢字教材「漢字 BOX」浜島書店 資料集「新国語総合ガイド」京都書房 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、表現できるように、電子黒板等を有効に活用しながら指導を行う。また、提出物の指導や、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	実社会に必要な国語の知識や技能を理解しているとともに、活用できる技術を身に付けている。	三領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする能力を身に付けている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を身に付けている。
	習得する (わかる)	実社会に必要な国語の知識や技能を理解している。	三領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲(論文・レポートなどの自主的な取組も含む)

単元別 評価規準

水の東西（山崎正和）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方、・主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、個別の情報と一般化された情報との関係や推論の仕方について理解を深め、その知識を活用する技能を身に付けている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析することができる。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめることができる。
	習得する (わかる)	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方、・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉えることを理解している。	・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。

話し方の工夫

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣い、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的や婉曲的な述べ方について理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、さらに場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って話し合いを進め、使うことができる。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をすることができる。
	習得する (わかる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えることができる。	・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、さらに場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って話し合いを進め、使おうとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。

待遇表現

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用することができる。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考え、話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。	・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使うことができる。
	習得する (わかる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している	・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えることができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりすることができる。	・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。

論理的な表現

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解して、その知識を活用することができる。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にすることを理解し、話の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	・進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合うことができる。
	習得する (わかる)	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にすることを理解している。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えることができる。	・進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。

言葉遣いとアイデンティティ（中村桃子）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解し、その知識を活用することができる。 ・正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、その知識を活用することができる。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、その知識を活用することができる。	・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫することができる。 ・「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めることができる。	・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめることができる。 ・本文を読んで自分の考えを深め、実社会から求めた題材を用いて検証することができる。 ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し、考えたことを積極的に発表することができる。
	習得する (わかる)	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えることができる。 ・「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈することができる。	・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・本文を読んで自分の考えを深め、実社会から求めた題材を用いて検証しようとしている。 ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し、考えたことを積極的に発表しようとしている。

情報の探索と選択

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、その知識を活用することができる。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じ、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じ、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。	・進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探することができる。 ・進んで情報の信頼性や妥当性を確かめ、学習の見通しをもって吟味することができる。
	習得する (わかる)	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めることができる。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じ、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じ、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することができる。	・進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。 ・進んで情報の信頼性や妥当性を確かめ、学習の見通しをもって吟味しようとしている。

情報源の明示

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、その知識を活用することができる。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じ、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じ、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。	・進んで引用の目的と方法を理解し、例を踏まえて理解し、その知識を活用することができる。
	習得する (わかる)	・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めることができる。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じ、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じ、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することができる。	・進んで引用の目的と方法を理解し、例を踏まえて理解することができる。

イースター島になぜ森がないのか（鷲谷いずみ）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方、・主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、個別の情報と一般化された情報との関係や推論の仕方について理解を深め、その知識を活用する技能を身に付けている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めることができる。	・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉え、その知識を活用することができる。 ・本文の解釈を踏まえて持続可能性について考えを深め、積極的に考えたことをまとめることができる。 ・本文を読み考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書くことができる。
	習得する (わかる)	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方、・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解している。 ・「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈することができる。	・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・本文の解釈を踏まえて持続可能性について考えを深め、積極的に考えたことをまとめようとしている。 ・本文を読み考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。

「弱いロボット」の誕生（岡田美智男）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、個別の情報と一般化された情報との関係や推論の仕方について理解を深め、その知識を活用する技能を身に付けている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	- 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えることができる。 - 動画と本文を比較して、わかったことを積極的に説明することができる。 - 本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書くことができる。
	習得する (わかる)	文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉えることを理解している。	- 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 - 動画と本文を比較して、わかったことを積極的に説明しようとしている。 - 本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。

スピーチで自分を伝える

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め、その知識を活用することができる。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考え、話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めることができる。	・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行うことができる。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話すことができる。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価することができる。
	習得する (わかる)	・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えることができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりすることができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価することができる。	・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。

相手に伝わる案内をする

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使うことができる。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価することができる。	・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じることができる。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話すことができる。 ・積極的に来場者役や評価者を務め、評価の観点に沿って評価することができる。
	習得する (わかる)	・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解することができる。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解することができる。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を予想して論理の展開を考えることができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりすることができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞くことができる。	・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じようとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的に来場者役や評価者を務め、評価の観点に沿って評価しようとしている。